

資料3-3 共通研究施設等

資料3-3-1 海洋観測機器棟

海洋観測機器棟には、研究航海で使用する観測機器や資材を収納する倉庫（吹き抜けで大型観測機器を収納）、研究航海で採集したサンプルを保管する資料保管庫、さらに観測機器の調整や修理、製作を行う整備・工作施設が設けられている。

施設屋外にはコンテナラボ、いざなぎ（曳航式サイドスキャンソナー）の架台、ウインチ架台、NSS（自航式サンプル採取システム）ケーブルウインチなど、大型機器が置かれている。

海洋観測機器棟の南東側は吹き抜けになっており、採水装置架台、ピストンコアラー、マルチプルコアラー、係留作業用可搬型ウインチ、いざなぎ、NSS等の大型観測機器が格納されている。これら大型観測機器の搬出搬入作業のために2.8トンの天井クレーンが装備されている。

2階に設けられた資料保管庫(1) は主にネット等で採集された生物サンプルが保管され、資料保管庫(2) にはドレッジやコアラーで採集された鉱物サンプルが保管されている。

1階の機器調整室はCTDセンサーや塩分計等精密機器の調整および研究航海で採集した海水の塩分計測等を行っている。また、器具洗浄室では航海で使用するサンプル瓶の洗浄を行っている。

整備室および工作室には旋盤やボール盤が備えられ、研究支援推進員(3名)が観測機器の修理や製作作業に従事している。また、研究支援推進員の協力のもと、教職員や大学院生が観測機器の製作作業に従事することもある。なお、重量物のプラットフォームへの移動を容易にするため、整備室には1トンの天井クレーンが設けられている。